

1 施策評価

内部評価の結果（評価結果の一覧及び政策・施策評価シートは別紙2のとおり）について、以下のとおり再評価を行い、その結果を資料2「外部評価シート」に記載してください。

シート2（政策・施策評価シート〔施策〕）

施策コード							局名			
施策名										
<b>1 指標・達成状況</b>										
①	代表指標								達成度	
	達成状況									
②	代表指標									
	達成状況									
③	代表指標									
	達成状況									
<b>2 投入コスト</b>										
コスト	支出区分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度(見込)	合計			
	事業費(千円)									
	うち市債・一般財源(千円)									
	人工(人)	正規						非常勤		
	人件費(千円)※									
経費合計(千円)										
※人件費は正規職員800万円/年、非常勤職員300万円/年で										
<b>3 指標の適確性</b>										
指標は施策が実現された状態を表しているか		①								
<b>4 施策の課題と原因</b>										
施策の達成にはどのような課題、問題(目的と現状とのギャップ)があるのか、その原因は何か		②								
<b>5 課題解決の方向</b>										
課題等を解決するため、今後どのようなことに取り組んでいくのか		③								

**【内部評価に対する意見】**  
以下の視点で内部評価の結果を再評価し、ご意見をお書きください。なお、評価に問題がなく、特に意見のないときは、「妥当」に○を付けるだけでも結構です。

①代表指標の内容、目標値に対する評価は、これで良いか(偏りやもれはないか)  
②課題と原因は、これで良いか。(偏りやもれはないか)  
③課題解決のための取組は、これで良いか。(課題の解決につながっているか)

**【内部評価に対する意見】**  
以下について、内部評価の結果を再評価し、ご意見をお書きください。なお、評価に問題がなく、特に意見のないときは、「妥当」に○を付けるだけでも結構です。

④⑤⑥⑦⑧  
主要事業の評価(達成度、貢献度、費用対効果、必要度、優先順位)は、これで良いか。(客観的事実を基に、正しい視点で評価しているか。)

6 構成する主要事業					実績に対する評価		将来の必要性に対する評価		外部評価
事業	目標	達成状況	5年間の事業費(千円)	5年間の人件費(千円)	達成度	総合評価	必要度	優先順位	確認欄
					貢献度				
					費用対効果				
⑨					④		⑦	⑧	
					⑤				
					⑥				

**【その他】**  
⑨施策の実現のため、今後取り組むべき事業、3次総に向けた意見・提案があれば、お書きください。

**【実績に対する評価基準】**

〔政策・施策レベル・主要事業〕

達成度		評価点
S	期待を上回る(達成率105%以上)	5
A	期待通り(達成率90%以上105%未満)	4
B	期待をやや下回る(達成率70%以上90%未満)	3
C	期待を下回る(達成率70%未満)	2
D	実施していない(達成率0%以下)	0

〔施策レベル・主要事業〕

貢献度		評価点
S	政策(施策)の実現に極めて大きく貢献している	5
A	政策(施策)の実現に大きく貢献している	4
B	政策(施策)の実現に貢献している	3
C	政策(施策)の実現にあまり貢献していない	2
D	政策(施策)の実現に貢献していない	1

〔施策レベル・主要事業〕

費用対効果		評価点
S	費用対効果が極めて高い	5
A	費用対効果が高い	4
B	費用と効果が均衡している	3
C	費用対効果が低い	2
D	費用対効果が極めて低い	1

〔施策レベル・主要事業〕

総合評価	
S	極めて有効(合計評価点 14~15)
A	相当程度に有効(合計評価点 11~13)
B	有効(合計評価点 8~10)
C	あまり有効でない(合計評価点 5~7)
D	有効でない(合計評価点 2~4)

※合計評価点は、達成度、貢献度、費用対効果の評価点の合計

**【将来に向けた必要性に対する評価(完了した事業を除く。)**

〔政策レベル・主要事業〕

将来に向けた必要度	
S	必要性が極めて高い
A	必要性が高い
B	必要
C	必要性が低い
D	極めて必要性が低い
-	事業完了などにより判断できない

〔施策レベル・主要事業〕

**将来に向けた優先順位**

上記の「ア(4)総合評価」と左記の「イ(1)将来に向けた必要度」を勘案して、優先順位を付ける。

## 2 政策評価

内部評価の結果（評価結果の一覧及び政策・施策評価シートは別紙2のとおり）について、以下のとおり再評価を行い、その結果を資料2「外部評価シート」に記載してください。

シート3（政策・施策評価シート〔政策〕）								
政策コード							局名	
プロジェクト								
政策名								
政策の方向								
<b>1 指標・達成状況</b>								
代表指標								
達成状況								
達成度								
<b>2 投入コスト</b>								
コスト	支出区分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度 (見込)	合計	
	事業費(千円)							
	うち市債・一般財源 (千円)							
	人工(人)	正規						
		非常勤						
	人件費(千円)※							
経費合計(千円)								
※人件費は正規職員800万円/年、非常勤職員300万円								
<b>3 指標の適確性</b>								
指標は政策が実現された状態を表しているか	①							
<b>4 政策の課題と原因</b>								
政策の達成にはどのような課題、問題(目的と現状とのギャップ)があるのか、その原因は何か	②							
<b>5 課題解決の方向</b>								
課題等を解決するため、今後どのようなことに取り組んでいくのか	③							

**【内部評価に対する意見】**  
以下の視点で内部評価の結果を再評価し、ご意見をお書きください。なお、評価に問題がなく、特に意見のないときは、「妥当」に○を付けるだけでも結構です。

①代表指標の内容、目標値に対する評価は、これで良いか(偏りやもれはないか)  
②課題と原因は、これで良いか。(偏りやもれはないか)  
③課題解決のための取組は、これで良いか。(課題の解決につながっているか)

**【その他】**  
⑨政策の実現のため、今後取り組むべき施策、3次総に向けた意見・提案があれば、お書きください。

**【内部評価に対する意見】**  
以下について、内部評価の結果を再評価し、ご意見をお書きください。なお、評価に問題がなく、特に意見のないときは、「妥当」に○を付けるだけでも結構です。  
④⑤⑥⑦⑧  
施策の評価(達成度、貢献度、費用対効果、必要度、優先順位)は、これで良いか。(客観的事実を基に、正しい視点で評価しているか。)

6 構成する施策						実績に対する評価		将来の必要性に対する評価		外部評価
施策	代表指標	達成状況	5年間の事業費(千円)	5年間の人件費(千円)	達成度	総合評価	必要度	優先順位	確認欄	
					貢献度					
					費用対効果					
⑨					④		⑦	⑧		
					⑤					
					⑥					

### 【実績に対する評価基準】

〔政策・施策レベル・主要事業〕

達成度		評価点
S	期待を上回る(達成率105%以上)	5
A	期待通り(達成率90%以上105%未満)	4
B	期待をやや下回る(達成率70%以上90%未満)	3
C	期待を下回る(達成率70%未満)	2
D	実施していない(達成率0%以下)	0

〔施策レベル・主要事業〕

貢献度		評価点
S	政策(施策)の実現に極めて大きく貢献している	5
A	政策(施策)の実現に大きく貢献している	4
B	政策(施策)の実現に貢献している	3
C	政策(施策)の実現にあまり貢献していない	2
D	政策(施策)の実現に貢献していない	1

〔施策レベル・主要事業〕

費用対効果		評価点
S	費用対効果が極めて高い	5
A	費用対効果が高い	4
B	費用と効果が均衡している	3
C	費用対効果が低い	2
D	費用対効果が極めて低い	1

〔施策レベル・主要事業〕

総合評価	
S	極めて有効(合計評価点 14~15)
A	相当程度に有効(合計評価点 11~13)
B	有効(合計評価点 8~10)
C	あまり有効でない(合計評価点 5~7)
D	有効でない(合計評価点 2~4)

※合計評価点は、達成度、貢献度、費用対効果の評価点の合計

### 【将来に向けた必要性に対する評価（完了した事業を除く。）】

〔施策レベル・主要事業〕

将来に向けた必要度	
S	必要性が極めて高い
A	必要性が高い
B	必要
C	必要性が低い
D	極めて必要性が低い
—	事業完了などにより判断できない

〔施策レベル・主要事業〕

将来に向けた優先順位	
上記の「ア(4)総合評価」と左記の「イ(1)将来に向けた必要度」を勘案して、優先順位を付ける。	

外部評価シート〔施策評価〕 戦略Ⅲ－3 魅力あふれる中山間地域活性化プロジェクト

施策名 3-3-1 既存住民の定住支援と集落の活性化 氏名 ○○ ○○

代表指標①	住みやすく便利な暮らしができていると思う市民の割合（中山間地域） (H21) 38% → (H26) 55%
-------	---

以下の外部評価欄の選択肢に○を付け、理由や意見を記載してください。（「妥当」の場合は、○を付すだけでも結構です。）

①「指標の適確性」の再評価

内部評価の結果	外部評価
「便利な暮らし」でなく、代表指標は「住みやすさ」に特化すべき。	内部評価の結果は ア 妥当 <input checked="" type="radio"/> イ 妥当ではない [理由・意見] <b>施策目的は「定住」と「活性化」であるため、「住みやすさ」だけでなく、教育、医療、仕事(収入)などを含めた「生活しやすさ」を指標とする必要があるのではないか。また、目標値である「55%」の根拠が不明なため、併せて解説が必要。</b>

②「施策の課題と原因」の再評価

内部評価の結果	外部評価
【課題】 ○既存住民、特に若年層の流出が続いている。 ○集落活性化が十分でない。 【原因】 ○既存住民、特に若年層にとって生業とする仕事場が少ない。	内部評価の結果は <input checked="" type="radio"/> ア 妥当 イ 妥当ではない [理由・意見] <b>課題、原因ともに妥当。山村が今後も存続し続けるためには若年層の定住が必要であり、そのためには、安定的な収入の得られる仕事場の確保が重要となる。</b>

③「課題解決の方向」の再評価

内部評価の結果	外部評価
【課題を解決するための取組】 ○住みやすさとともに、働く場について検討していく必要がある。 ○当該地域住民のニーズを確実に把握したうえで、既存事業の見直し等を実施していく必要がある。	内部評価の結果は ア 妥当 <input checked="" type="radio"/> イ 妥当ではない [理由・意見] <b>課題解決の取組に具体性がない。どのような人々をターゲットに、どのように仕事を確保していくのか、既存事業をどのように見直ししていくのか、まず、市としての方針を立てる必要がある。</b>

④～⑧「構成する主要事業」の再評価

内部評価の結果は ア 妥当 <input checked="" type="radio"/> イ 妥当ではない [理由・意見] <b>費用対効果の評価が、「野生鳥獣被害対策」はB、「自主運行バス」はCとなっているが、5年間の事業費を考えると更に低い評価とすべきではないか。また、「複式学級への非常勤講師の配置」と「放課後子ども教室の実施」を優先順位1位、2位としているが、定住や活性化に直接結びつく事業を上位とすべきではないか。</b>
--

⑨その他

今後取り組むべき(または力を入れていくべき)事業が <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない [理由・意見] <b>現在の主要事業のなかでは、仕事場の確保として主に農林業を対象としているが、新東名が開通したことから、他の産業の誘致も行っていくべきではないか。</b> [その他全体をとおしての意見、3次総に向けた意見・提案] <b>この施策が、政策「山村と都市が共生・共有するまちの実現」にどのように貢献するのか、市民に分かりやすく示していく必要がある。</b>
---

外部評価シート〔政策評価〕 戦略Ⅲ－3 魅力あふれる中山間地域活性化プロジェクト

政策名 3-3 山村と都市が共生・共有するまちの実現 氏名 ○○ ○○

代表指標①	中山間地域の保全に関心がある市民の割合 (H21) 74%→(H26) 90%
-------	---

以下の外部評価欄の選択肢に○を付け、理由や意見を記載してください。（「妥当」の場合は、○を付すだけでも結構です。）

①「指標の適確性」の再評価

内部評価の結果	外部評価
都市が中山間地から享受する恩恵を共有することは、山村との共生に直結することであるため、代表指標として妥当。	内部評価の結果は ア 妥当 <input checked="" type="radio"/> イ 妥当ではない [理由・意見] <b>「中山間地域の保全に関心のある市民の割合」は、政策のごく一部を表しているに過ぎないため、政策がどの程度実現したかを測るためには、他のいくつかの指標と組み合わせる必要がある。</b>

②「政策の課題と原因」の再評価

内部評価の結果	外部評価
【課題】 ○中山間地の保全の必要性、恩恵について市民理解が十分でない。 ○中山間地の魅力が都市部住民に浸透していない。 【原因】 ○都市と中山間地の交流不足。 ○市民へのPR不足。	内部評価の結果は ア 妥当 <input checked="" type="radio"/> イ 妥当ではない [理由・意見] 【課題】 <b>課題は、4年間の事業の実施が「中山間地域の保全に関心がある市民の割合」を向上させることにつながらなかったことにあるのではないか。</b> 【原因】 <b>知らなかったことだけが、「関心のある市民の割合」が向上しなかった原因ではないと考えられるため、詳細な調査、分析を行ってほしい。</b>

③「課題解決の方向」の再評価

内部評価の結果	外部評価
【課題を解決するための取組】 ○移住促進や、交流促進などの既存事業の着実な実施。 ○新規事業の検討。 ○オクシズの魅力PR推進。	内部評価の結果は <input checked="" type="radio"/> ア 妥当 イ 妥当ではない [理由・意見] <b>既存事業だけでは政策の実現は難しいと考えられるため、「関心のある市民の割合」を向上させる新たな事業が必要である。調査、分析結果を基に、他部局とも連携して検討してほしい。</b>

④～⑧「構成する施策」の再評価

内部評価の結果は ア 妥当 <input checked="" type="radio"/> イ 妥当ではない [理由・意見] <b>両施策併せて5年間で26億8千万円の事業費を投じているが、どちらの施策も達成度は「C」となっていることから、費用対効果についても「C」が妥当と考える。内部評価は、全体的に甘く評価されている。</b>
--

⑨その他

今後取り組むべき(または力を入れていくべき)施策が ア ある <input checked="" type="radio"/> ない [理由・意見] [その他全体をとおしての意見、3次総に向けた意見・提案] <b>政策である「山村と都市が共生・共有するまちの実現」が、どのような「まち」なのか明確でないため、市民には、政策の目的を具体的に示す必要がある。</b>
--